

令和6年5月14日

令和6年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎
東京ITプログラミング&会計専門学校杉並校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和5年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 令和6年度学校関係者評価委員会

<評価委員> (五十音順)

江畑 龍 氏	リコージャパン株式会社 エンタープライズ事業本部 首都圏 MA 事業部 デジタルサービス第五営業部 LA4 グループ リーダー
衣川裕美子氏	日本SE株式会社 ソリューション営業推進部 課長補佐
富澤 武幸氏	特定非営利活動法人東京高円寺阿波おどり振興協会 専務理事 事務局長
林 成治氏	あかり監査法人 公認会計士
林 哲治氏	立志舎高等学校 教頭
平井 隆 氏	税理士法人 Alchemist 代表社員

<事務局>

松嶋 和典	東京ITプログラミング&会計専門学校杉並校 校長
清水 英広	東京ITプログラミング&会計専門学校杉並校 教務部課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
<p>基準1 教育理念・目標</p>	<p>イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか</p> <p>学校の目標を「教育基本法に則り、学校教育法に従い、簿記、会計、情報処理及びビジネスに関する正しい知識を身につけ、日本経済の発展に貢献出来る人材の育成を目的とする。」としている。さらに専門分野の特性が明確になるように学科ごとに目標も定め、ホームページに基本情報として情報公開しており学外に広く公表している。</p> <p>ロ. 学校における職業教育の特色は何か</p> <p>教育の特色は、本学独自の教育システムの「ゼミ学習」である。この学習システムにより各学科の目標とする検定試験等に高い合格実績をあげることができている。入学希望者にもオープンキャンパス等で分かりやすく説明している。</p> <p>ハ. 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想が学生、保護者等に周知されているか</p> <p>ホームページへの掲載やオープンキャンパスでの説明など、学生・保護者等に周知されている。</p> <p>ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界ニーズに向けて方向づけられているか</p> <p>育成人材像が業界のニーズに向けて方向づけられるように、学内就職セミナーや教育課程編成委員会を通して業界のニーズを把握し、ゼミ学習を通じて日々学生を指導している。</p> <p>基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「教育目標に専門的知識の習得のほか、人格の育成を掲げている。社会人になってからも人格育成は必要であり、常に学んでいかなければいけないものであって、学ぶことによって主体性を持って学んだ知識を社会に還元していくことができいくと思う。その基礎を築いていくということは良いことだと思う。」</p> <p>(2) 「社会ではコミュニケーションが必要であり、会話の中で意思疎通を図っていかなければいけない。そのなかで、ゼミ学習では質問する側は何を聞きたいのか相手にしっかり明示しなければいけないし、回答する側も相手の質問を理解すること、さらに相手に説明することで自分の理解を再確認することができる。そのことがゼミ学習の強みですし、社会に出る前に体験できるということは良いことだと思う。」</p>

<p>基準2 学校運営</p>	<p>イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか</p> <p>各学科の目的等を達成するために「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本目標としており、教務室、事務室、就職相談室、受付などに掲示して、繰り返し教職員に伝えている。</p> <p>ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化され機能しているか</p> <p>運営組織図があり、それに従って運営されている。各部署には学校の目標達成のために数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が十分に整っている。運営組織や意思決定機能は効率的なものになっている。</p> <p>ハ. 人事制度や組織整備がなされているか</p> <p>人事や賃金での処遇に関する制度については、採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度を整備している。</p> <p>ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</p> <p>日常的な意思決定は管理職が行っており、学校間の調整は運営本部や部次長会議で行っている。また、理事会、評議員会、校長会、部次長会議、責任者会議、課会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしている。</p> <p>ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか</p> <p>資格取得実績や就職実績は、その都度ホームページで情報公開し、本人了承のもと氏名のイニシャル表記や出身校名を載せているので、志望者やその保護者の方の判断にも役立っている。</p> <p>ヘ. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか</p> <p>情報システムについては、学務システムと経理システムを個々に運用しており、就職部は求人情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。在学生への求人情報の提供、学校が取りまとめる求人への申込をオンライン化し、「民間就職支援ポータルサイト」として運用している。学務システムは仮想プライベートネットワークで全拠点を結び、セキュリティを強化して運用している。また、全教職員にパソコンを貸与し、業務改善に取り組んでいる。</p> <p>基準2についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「学校の基本目標である「学生から信頼され支持される学校づくり」について、信頼されるということは実績を出すということでそれが最終的には社会や地域に貢献していることだと思う。卒業生から頑張っているという言葉の頂くことによって、社会や地域に貢献出来ているという認識を持つことができるし、この基本目標は良いことだと感じている</p> <p>(2) 「高校3年生が進路を決める際にスマホで各校のホームページを見る</p>
-----------------	--

	<p>のですが、立志舎のホームページはシンプルで分かりやすく進路を決める上で参考になるツールです。」</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</p> <p>カリキュラムは、教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考にカリキュラム作成委員会を開催し、定期的な見直しを行っている。授業はゼミ学習を取り入れており、知識をより確実にするばかりでなく、積極性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性も育成している。</p> <p>ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</p> <p>官公庁や企業からのアンケートを基にした「社会が求める人材像」を学生に明示しており、修業年限で「社会が求める人材像」のレベルまで達するよう指導している。また、公認会計士や税理士などの超難関資格を目指す学生には研究学科への進学を可能とし、さらなるレベルアップができるようにしている。</p> <p>ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</p> <p>カリキュラムは、年2回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成している。</p> <p>ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか</p> <p>専門知識や技術以外にもビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するための授業科目を設置し、企業の人事担当者による学内就職セミナーも実施している。また、現在すべての2年制学科で職業実践専門課程の認定を受け、企業等と連携した実践的な演習を行っている。</p> <p>ホ. 授業評価の実施・評価体制はあるか</p> <p>学生による授業評価アンケートを実施している。また教育課程編成委員会での外部委員の意見を取り入れている。</p> <p>ヘ. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか</p> <p>学則、専門課程便覧にその基準を明確に定め、学生にも周知徹底し、厳正に行っている。また成績評価については本学ホームページ上にも公開している。また、令和元年度より成績のGPA算定を導入し、GPAの算定方法についても本学ホームページ上にも公開している。</p> <p>ト. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</p> <p>各学科で目標とする資格・試験を明確に定め、カリキュラム編成をし、試験終了後見直しを行っている。各学科でシラバスを作成し、適正な配置を行っている。</p>

	<p>チ. 人材育成目標に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</p> <p>専門性、人間性、教授力等の諸要件を備えた人材の確保はできている。</p> <p>リ. 教員の能力開発のための研修などが行われているか</p> <p>教員の専門性や教授力等を常にレベルアップするため、年間を通じての自己啓発研修や企業等との連携により最新の動向を取り入れる研修を行っている。</p> <p>基準3についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「指導者は時間をかけてスキルをあげ、特に指導者間の情報の共有化は絶対に必要と感じている。立志舎でも指導者養育の重要性を理解し認識していると理解した。」</p> <p>(2) 「現在の社会では自律型人材が求められていると思う。自分で考え、課題を見つけ、解決策を考えて実行に移す。自ら動ける人材にフォーカスが当たっていると思う。また、人の意見を取り入れられる素直さ、誤魔化さないで謝罪できる素直さが必要である。そして伸びる人材は、周りの意見を取り入れて自分の中で消化していくのがうまい人である。」</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>イ. 就職率の向上が図られているか</p> <p>ロ. 資格取得率の向上が図られているか</p> <p>就職率及び資格取得率については維持・向上が図られている。</p> <p>ハ. 退学率の低減が図られているか</p> <p>担任をはじめ各学科の教員が学生全員に目を配り、声をかけて退学率の低減を図っている。さらに令和3年度から「日常コミュニケーションチェック表」を全クラスで導入し、学生の変化を日々確認できるようにしている。</p> <p>この基準4についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「民間企業の就職率が非常に高く、学校のロビーには色々なジャンルの企業に内定している情報が目につきます。知識の習得には時間がかかるので即戦力がどの企業にも求められている。引き続き資格を取得していき数多くの企業に内定していくことを期待している。」</p>

<p>基準5 学生支援</p>	<p>イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</p> <p>就職担当者およびクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、就職先の選択、会社訪問、面接対策などの指導を行っている。また、就職相談室を設置しいつでも相談できる体制をとっている。</p> <p>ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか</p> <p>学生の相談はまずクラス担任にするが、その他にも学生相談室を設置し相談できる体制をとっている。</p> <p>ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</p> <p>本学では独自の特別奨学生試験、各種特待生制度や延納制度を設けている。また、高等教育の修学支援新制度の対象校として東京都より確認されている。</p> <p>ニ. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか</p> <p>学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施している。また、学校医が学生の健康相談などに応じている。</p> <p>ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか</p> <p>クラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などの課外活動が盛んであり、学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。</p> <p>ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか</p> <p>学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として学生に紹介している。</p> <p>ト. 保護者と適切に連携しているか</p> <p>出席状況、成績表を年2回、相談室のお知らせ等を年に4回保護者に送付している。また、必要に応じて保護者と面談も実施している。</p> <p>チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか</p> <p>無料で高校生への民間就職支援、公務員採用試験受験指導、情報処理セミナー、簿記セミナー等を開催し、多くの高校生が参加している。</p> <p>この基準5についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「経済的理由で学べない人は実際多いのかなと仕事をしていて感じる。勉強を頑張りたい人に学ぶ機会を与えることは良いことだと思うので、経済的な学生支援を継続して行ってほしい。」</p> <p>(2) 「資格・試験の高い合格率や就職内定率を見て、改めて担任の力が必要だと感じた。ただ、学生や保護者は様々な悩みをもって学校生活を過ごしているのが現状であり、担任以外のサポートを手厚く実施していると思う。」</p>
-----------------	---

<p>基準6 教育環境</p>	<p>イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 設置基準に基づき教育上支障がないように整備されている。また、校内の Wi-Fi 環境を全教室に整備して、常時オンライン授業や企業の説明会、面接に対応できる体制を整えている。</p> <p>ロ. 防災に対する体制は整備されているか 防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。しかし、大規模災害等何が起こるか分からない状況を考慮し、今後も改善に努める。</p> <p>この基準6についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。 「仕事でもオンラインが当然という流れになっているなか、教育というのは face-to-face が本来は一番良いのを前提としながらも、それを補う要素としてオンラインを取り入れているのは大変評価できると思う。」</p>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ. 学生募集活動は、適正に行われているか</p> <p>ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか 公認会計士試験、税理士試験、情報技術者試験などの高度な試験合格においては、合格者情報に氏名のイニシャル表記・出身校名を載せており、入学者に対するアンケートにおいても、卒業生の活躍する教育成果が進路を決定する上で大いに参考になったとの数多くの回答を得ている。 また、情報発信としてホームページだけでなく SNS も利用して行っている。</p> <p>ハ. 学納金は妥当なものとなっているか 学納金に関しては学校の財政基盤の問題がでないように適正かつ妥当な金額に設定されている。 この基準7についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見と質問があった。</p> <p>(1) 「SNS の活用はこの時代無くてはならない情報発信ツールとなっていると思う。ホームページだけでは伝えきれない学校やイベントの雰囲気や SNS を通じて発信することで高校生がより親しみ易さを感じ入学希望に繋がっていくと感じた。若い方の目線の発信がより大事になると思う。」</p> <p>(2) 「SNS の中で一番反響があるツールは何ですか」 【回答】 「LINE や Instagram ではないでしょうか。動画があげやすいので学校としては Instagram に力を入れようとしているところだが、高校生との連絡手段は LINE です。ただ、高校生によって何のツールを主体として使用しているのかはバラバラなので、試行錯誤している状況です。」</p>

<p>基準8 財務</p>	<p>イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか</p> <p>財務全般については、少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定められている。予算の編成は適切な手続きを経た上で確定し、予算を執行している。会計監査については、監事2名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施している。その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。私立学校法第47条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、監査報告書を公開している。</p> <p>この基準8についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>「財務情報を公開することで透明性や安全性が担保できていることを公表することは良いことだと思う。」</p>
---------------	--

<p>基準9 法令等の 遵守</p>	<p>イ. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本目標に、教職員には毎年人権研修の受講を義務付けるとともに、法令遵守規程を作成し施行している。</p> <p>学生に対しては入学時に配布する専門課程便覧に「ソーシャルメディアガイドライン」、「ハラスメント防止ポリシー」を記載して法令順守の徹底及び道徳指導を適宜実施している。</p> <p>また、法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。</p> <p>ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</p> <p>個人情報保護に関しては、個人情報保護規程、プライバシーポリシーを設定している。学園の保有する個人情報を委託業者に取り扱わせる際には、覚書等で保護の徹底を行っている。また、国家試験等の合格情報や就職実績の情報を掲載する場合には、教職員より学生に趣旨を説明し、文書にて承諾を得た旨記録し、個人情報を取り扱っている。</p> <p>ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>ニ. 自己評価結果を公開しているか</p> <p>「自己点検・自己評価委員会」を設置し、自己点検・自己評価を行っており、その結果についてはホームページに公開している。今後も自己評価を実施して問題点を分析し、より良い改善をしていく。</p> <p>この基準9についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>「定期的に自分たちの活動を振り返って見直しをして評価するということは大事である。このように外部の人に参加してもらい、評価してもらうことは素晴らしいと思うので、自己点検・自己評価は今後も続けてほしい。ただ、委員会を実施することが目的となって形骸化してしまう恐れがあるので、前回このような課題があって新しい取り組みを行いこのように改善したというような報告があるとより良いと思う。」</p>
------------------------	---

<p>基準 10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ロ. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか</p> <p>社会貢献・地域貢献全般については学生のボランティア活動を奨励し、支援している。学生は近隣の路上清掃をしており、その清掃活動は近隣からもとても好評である。また、地域の状況に応じてお祭りやフェスへの参加など社会貢献・地域貢献ができています。</p> <p>また、地域の方々に対する学校独自の公開講座等はないためその点はやや不適切である。</p> <p>この基準 10 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「毎年開催されている高円寺フェスにおいて立志舎の応援団・ブラスバンドが欠くことができない存在になっている。その高円寺フェスは立志舎の応援団による地元に対するエールから始まっており、立志舎そのものの存在を強くアピールし、元気な学生の活動が周知されており、地域貢献が十分に行われていると思う。」</p> <p>(2) 「文科省からも社会に開かれた学校等を推進されている。地域への連携・協力は教育活動の一環として必要と感じており、学校での学びだけでなく同年代とは異なる年代の方々との触れ合いなどを通じて成長していくもだと思っているので、路上清掃や地元のお祭りなどの参加は良いことだと思う。」</p>
------------------------	--

〔総括的な意見〕

すべての評価項目の評価について妥当となっている。

学生から信頼され支持される学校づくりとして、合格・就職・キャンパスライフという 3 本柱を目標に学校としてやろうとしていることを明確にしており、それに向かって教職員の方々も一生懸命取り組んでいることが分かった。この目標を達成することは難しいと思うが、今までのノウハウの蓄積を糧に自信をもって完全担任制のもとゼミ学習を通じて達成して欲しい。

外から見えない実績や活動を知ることができた。学生の合格実績や就職実績は素晴らしいと思う。またゼミ学習やキャンパス行事を通じて、知識だけでなくヒューマンスキルを高め、「立志舎の卒業生を採用して良かった」と思える、より良い人材を社会に送り込んでもらうことを期待している。

地域との連携を深めながら学校と地域が共に手を携えながら進んでいけるような関係を構築できればと思う。

少子化に伴う財政基盤の悪化が懸念される。広報として高校生を始めとした社会の方々にメディアの使い方も含めて実績をどう伝えるか、存在可能性をいかに達成できるかが大事になってくると思う。